

北海道ようぼくが 胸を張って堂々と!

謹しんで新年のご祝辞を申し上げます

教区長 西垣 定洋
他 各部各会役員一同



第533号

発行所

天理教北海道教務支庁
札幌市中央区南8条西11丁目
電話011(561)-1148
FAX011(561)-1190
E-mail:kyouku-h@vega.ocn.ne.jp

印刷

三浦印刷株式会社

新年明けまして誠に慶び申し上げます。

昨年は道内の皆様におかれましては、直属教会・所属教会を通して、教祖百三十年祭の年に、おちばに真実心を寄せ、人々をおぢば帰りにお連れ帰り、更には心を込めてお尽くしに運ばれ、教祖にお喜び頂けるよう、一人ひとりが私の教祖百三十年祭だという強い信仰信念のもとおつとめ下さいました。誠に「苦勞様でした。私は親神様より」おてびき」を頂き、未だ入院治療中であり、皆様にご心配かけて誠に申し訳ありません。私も信仰の基本である「かしのもの・かりもの」親神様の十全の守護のお働きを勉強させて頂いております。

今年は大亮様のご成婚であり、誠に目出度く心からお祝い申し上げます。又、後継者講習会、教会長子弟育成プロジェクト等、おちばでの会合・行事も多いですが、内向きな信仰ではなく、胸を張って堂々と、おちば一条の精神で北海道よふぼくが勇んで勤めましょう。今年もどうぞよろしく願います。

北海道教区長 西垣 定洋



天理教基礎講座 TENRIKYO BASICS COURSE

平成 29 年 北海道会場 開催日

- 3月 4日(土) 教務支庁会場
- 5月 7日(日) 函館支部会場
- 5月 21日(日) 札幌白雲支部会場
- 6月 3日(土) 教務支庁会場
- 6月 18日(日) 千恵広支部会場
- 7月 16日(日) 宗谷支部会場
- 8月 21日(月) 教務支庁会場
- 9月 24日(日) 釧根支部会場
- 10月 1日(日) 天龍支部会場
- 10月 29日(日) 倶知安支部会場
- 12月 3日(日) 教務支庁会場

- 教務支庁会場開講時間 13:30～15:00
- 教務支庁以外の会場の開講時間、施設等は決定次第、支部を通じてご案内致します。
- 問合せ先: 基礎講座北海道会場事務局 (北海道教務支庁内) 011-561-1148

教区学生会と学生担当委員会が協力して、『春の学生おぢばがえり』参加の団体を企画・募集中!!

たくさんの仲間と共に、おぢばへ帰りましょう!

※詳しくは、教区学生会まで…

北海道教区のホームページ <<http://www.tenrikyo-hk.com/>> 教区報がご覧頂けます。

親神様からの
大恩に報いる年に



総務部長
高橋 政嗣

先日役場より国勢調査員として、永年勤めた功績により、総務大臣から表彰されるとの電話を頂いた。後日、表彰状と銀盃が届けられた。届けて下さった課長さんの話によると「めったにない事です。昭和五十年から勤めているから」とのことでした。昭和五十年と言えば、三十一歳の年である。その時から、まる四十年、延べ九回に亘って国勢調査員として勤めさせて頂いたのだ。私の人生の半分以上の歲月である。お言葉に「大恩忘れて小恩をおくる」と言うのがある。日々親神様の十全のご守護を戴き、お連れ通り頂いていることは分かっており、朝夕お礼申し上げているが、改めて考えたなら、昨日が終わって今日があり、今日が終わって明日があると、ごく当たり前の繰り返しが出来ることが、どれ程有難いのか、その四十年という時を刻む事が出来た証である。生かして頂いて来たのである。これが親神様から戴く大きな恩であり、私達は恩を報じていかなければならないと、改めて心に誓った。

内外への布教力を
力強く進めよう!!



布教部長
美田 伸一

常日頃は布教部活動の上に御理解と御尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は教祖百三十年祭をつとめさせて頂き、本年は次の塚に向かつて新たな出発をさせて頂く句を迎えました。年祭という大きな旬、仕切りを越えた今日、私共お互いは現在おかれている、お道の状況をしつかり掌握しながら望まれる布教の実践を強く推し進めなければなりません。現在、後継者講習会や会長子弟育成プロジェクト等の打ち出しを頂いておりますが、道の将来を担う人材を育成させて頂くべく、内に向かつて、又外

に向かつての布教力を強固なものにしていかなければなりません。

その上から、教区支部に於いては、青年会、災救隊と共に布教部が連携をとりながら合力のもと、一手一つに布教活動を進めさせて頂き、力強く大きく実りある働きを推し進めさせて頂きます。

通常活動と共に布教部活動の上に、本年も一層のお力添えを賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

便利さの中に『おぢばがえり』の意味を思う



輸送部長
笹田 道継

本年は教祖百三十年祭を終えて次の塚へと向かう第一歩を踏みしめる年であります。世界たすけのようほくなる人材を増やしたい、という親の思いに込めるためには、どうしても「おぢば」へとお帰り頂かねばなりません。我々の先人達はこの困難な事業に取り組み、決して諦

めずに神にもたれてぢばへぢばへと運び、その飽くなき努力の結果が、現在のおぢばがえりの姿となつて現れていると痛感します。旅費も安くなり旅程も短くなり利便性で言えば最早何も言うことのない輸送体制は整いましたが、それに反するかのようにおぢばに帰る人々が減少している現実をどう捉えるのかを、考えねばならない時期にきていると思います。

輸送方法が快適便利になることについては誰も異論の無いところではありますが、それが「おぢばがえり」ではなく単なる旅行になっているのではないかと。先人は汽車の中で船の中で「おぢば」はどういうところか、どこか、何としても神様の尊いお話である「別席」を運んでもらいたい旨を、真剣にお話しする道中であつたと聞かされる時、先人とは違う方法努力が我々に求められているのではないかと思索しております。

例えば、おぢばに帰らせても、一泊してこれから帰る「ぢば」というところの意味を説明する機会を持たせてもらうとか、おぢばに着けば先人の足跡を偲ぶ

ツアーを企画するとか、そのようなお手伝いも視野に入れて取り組んでゆきたいと思っておりますので、皆様からのご意見ご要望をお待ち申し上げます。挨拶と致します。

文書布教活動でおたすけの実動に肉付け



文化広報部長
加地 道喜

十七年ぶりに天理時報の購読料金が改定され、本年一月一日から年間四、五六〇円となりました。しかし、本年中に、うちよ銀行限定で「自動引き落とし契約」(一括払い)に加入頂くと、一年間は三、九六〇円(今までと同額)、二年目以降は四、二〇〇円となります。一括払いは何かと大変とは存じますが、継続して時報を信者様方にお読み頂くためにも、このキャンペーンをご利用頂きたく思います。

皆様方の豊かなおたすけの実動、実践に、目から耳からとお道の文書『天理時報』『みちの

とも、他の道友社の出版物などを通して追体験、肉付けをして頂き、本年もさらなる御活躍を御祈念致しますとともに、文書布教活動の上にもお力添えを賜りますようお願い致します。新年の御挨拶とさせていただきます。

ひのきしんの態度でおたすけ心を持つ実践



災害隊隊長
奥村 尚人

学生層育成についてのお話の中で、「人に興味を持つ、お世話をさせていただくということが、おたすけなんです。」「相手の本当の声(心の中)を聞くことが大切で、相手の投げかけてきた玉と同じ色の玉を投げ返す会話のキャッチボールが大切です。」と聞きました。また、「特に男性は相手に対して同情することよりも、勇ませたいとの思いから、あの理だこの理だ、教祖はこのように、と話をしてしまいがち」とも言われました。昨年、平時訓練中に強風によって寝床をはぎ取られた経験は、被災者の心の声が聞こえた瞬間で

もありました。ひのきしんの態度で、苦しいねえ切ないねえという心を持って、救援活動に当たらせてもらうことが、実に大事なことかと思えます。「悩める人の胸の内に耳を傾け、寄り添うとともにをやの声を伝えよう。共に日常のおたすけ心と実践に励ませていただきます。本年もよろしくお願い致します。」

次世代に信仰の喜びを



婦人会主任
山本 亨子

新年あけましておめでとうございませう。昨年は教祖130年祭の年としてそれぞれのお立場でおたすけに奔走された日々喜び心一杯おたすけに帰りました。その中、教区・支部活動の上にも御真実、御協力賜りまして誠に有難うございました。心より御礼申し上げます。そして各地域で開催された、第28回女子青年大会では大変お世話になりました。皆様の御丹精頂いたお蔭で無事に楽しい、嬉しい大会と成りました。これからも次世

代に信仰の喜びが伝わる様、御恩報じの道を歩ませて頂きたい存じます。今年も、

成人目標

ひながたをたどり陽気ぐらしの台となりましょう

活動方針

- ご恩報じを念じ実のようほくに育つ
- 一 教えを学び身につける
- 一 身近な人を実のようほくに育てる

- 一 百万会員を目指してにをいがけ、おたすけに励む
- と目標をかがけて下さって居ります。

本会の思いにしっかり添わせて頂き、一手一つの心で勤めてまいりたいと思っておりますので、本年も何卒宜しくお願い申し上げます。

次につながる

活動を目指して



女子青年委員長
廣岡 洋子

新年あけましておめでとうございませう。

昨年は女子青年大会が、全道六会場にて開催されました。たくさんの方の出会いがあり、たくさんの方がおちばの理を頂戴してくださり、しらゆき会にとりましても、大変意義深い年であったと思えます。改めて、御礼申し上げます。

本年は昨年の活動を台として、大会が終わって良かったというだけでなく、次につながる活動を目標して、特に土地とこの支部活動がなほ活発になるように願って、つとめさせていただきます。

今後とも女子青年活動の上にご協力いただけますよう、今年もどうか宜しく申し上げます。

女子青年大会全日程終了

12月3日、女子青年大会の北海道会場の最終会場が、教務支庁で催され、女子青年が61名、その他33名の計94名が集い、晴天の御守護を頂くほど女子力が満ち溢れました。

大会の北海道最後の会場という事で、初めての人も多数参加して下さいました。また、お天気の御恵みを頂いたことも有難いことでした。参加者からは、「楽しかった」「勉強になった」「友達が出来た」「グループワークで気付きがあった。今後には生か

したい」「御恩報じについて考えることが出来た」など、素直な喜びの声を聞かせてもらいました。この大会に参加した女子青年さん達の熱い思いと絆を育み、親神様、教祖にお喜び頂けるようほくに育てさせて頂く努力を重ね、各地域において、女子青年の仲間の輪が広がり、信仰を深め合える場が出来るように、勇んで歩ませて頂きたいと思えます。(担当・山田)

【6会場参加者数】

教務支庁会場	9月4日	165名
網走会場	9月18日	64名
函館会場	10月30日	58名
夕張会場	10月30日	90名
雨龍会場	11月5日	74名
教務支庁会場	12月3日	94名



創立100周年に 向かって

日々の

陽気ぐらしの実践

『YYプロジェクト』

…それぞれの支部に
見合った多様な活動を…



青年会委員長
北村 貴久

昨年中は教区青年会活動、支部青年会活動にご理解とご協力を頂きまして、誠にありがとうございました。本年も変わらぬお力添えを頂きますようお願い申し上げます。

さて、今年の北海道教区青年会の活動ですが、立教181年に青年会創立百周年を迎えるにあたり、打ち出しがありました「日々の陽気ぐらしの実践」を意識した活動を推進していきます。

支部青年会活動においては、支部活動の柱であったハートクリンキャンペーンに代わり、『YYプロジェクト』と名を改め、ひのきしん活動だけにとらわれる

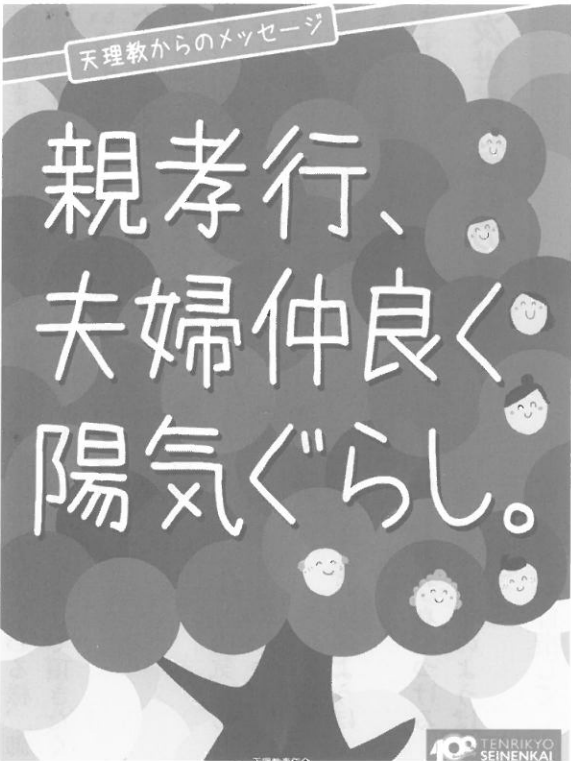


こと無く、それぞれの支部に見合った多様な活動を、支部青年会委員長を中心に、学生会委員長、女子青年委員長など各会の若きリーダー層と連携を取り、支部内の若い世代が集まる活動を展開していきます。また、活動を持続的に進めていくことによつて、若い世代の繋がりを強めて、支部内の各種行事への積極的な参加を促していきます。また、支部活動の中から、会

員個々の身近にある親子仲、夫婦仲のあり方を見つめ直し、会員同士で共有し、お互いが信仰の喜びを感じる場を作り出していきます。

布教実動においては、布教面の打ち出しである「胸から胸へのにをいがけ」を意識して、勢いにまかせた動きだけではなく、自分の信仰の喜びをしっかりと伝え、おたすけに繋がるようなにをいがけが出来るように、支部、ブロックにて、にをいがけドリルを盛り込んだ布教合宿の開催を推進していきます。

最後になりましたが、本年も身近にいる青年会員にお声掛け頂きますよう重ねてお願い申し上げます。



旬に頂いた喜びをもとに



少年会団長
久米田 忠彦

新年あけましておめでとうございませう

昨年は「どさん子の集い」を子供たちの笑顔と喜びの声いっぱいの中、勤め終えさせて頂きました。

これも、育成会員の先生方のご協力のお陰であります。誠にありがとうございました。

本年は、少年会50周年の旬に頂いた喜びをもとにさらなる、少

年活動に又、少年ひのきしん隊にと勤めさせて頂きたいと思ひます。

これからお力添えを頂きますよう、宜しくお願ひいたします。

本年重点目標

- ・本部練成会少年ひのきしん隊 (7月30日から8月5日)
- ・教会お泊り会の実践
- ・各ブロックにおける助け合い活動

以上ですよろしくお願ひします。

春の学生

おぢばがえりに向けて



学生会委員長
井谷 歩矢

新年あけましておめでとうございませう

昨年は教祖130年祭という意義ある時に、数ある行事に多くの参加者さんを御守護頂き、笑顔いっぱい通らせていただくことが出来ました。誠にありがとうございました

ございました！
今年2月に「真冬の集い」を開催し、3月には「立教180年春の学生おぢばがえり」があります。

「一人の笑顔からみんなに笑顔を広げていく」と言う気持ちを、スタッフ一同笑顔で、勇んで通らせて頂きます！今年もよろしくお願ひいたします！



「わかぎの集い」が今年も一手一つにつとめた

第32回

学生会おつとめ総会

12月11日、教務支庁にて学生会主催のおつとめ総会を開催した。参加者は、前日の昼過ぎから集合し「かしももの・かりもの」の教理勉強やおつとめ練習をおこなって、総会に向けての準備をした。夜には、ゲームなどで交流をして、道の学生同士のつながりを深める有意義な時間を過ごした。今回の総会は少年会のわかぎの集いと合同で、少年会の活動から学生会へと繋がる意識を高める行事となった。10日からの大雪で行事が行えるかどうか心配されたが、参加者のほとんどが予定通りに集まり無事に行事を終える事が出来た。学生の参加人数は43名だった。以下は、学生の所感です。

今回は「笑顔でつとめる」というテーマのもと沢山の仲間と無事に二日間を通ることが出来ました。

少年会の参加を含めて約60名の仲間と共に笑顔でおつとめ総会を勤めさせていただく



ことができ大変うれしく思います。参加してくださった会員さん、関わってくださった方々本当にありがとうございます。次の行事は2月に「真冬の集い」を開催します。春の学生おぢばがえりに向けての行事でもありますので、ぜひ参加をお待ちしております！

学生会委員長 井谷歩矢

「わかぎの集い」開催

12月10、11日、札幌が大雪に見舞われた日に、夏の少年ひのきしん隊の思い出の会と翌日の学生会おつとめ総会への参加を兼ねて、少年会員16名、育成会員6名が参加した。

まず、真夏のおぢばを満喫した少年ひのきしん隊のDVDを鑑賞、その場面では大変辛かった事も、振り返ってみれば楽しかったり、やり切った達成感が湧いてきて、自分の自信に繋がっていきます。楽しかったもので胸が満たされた後に、団長さんのお話へと続くと、「来年も少ひに参加したい!」という嬉しい声が続々と出てきました。また、「心の中の喜びを継続していくことが、参加できなかった仲間へ喜びを広げていくことになるよ」と伝えました。又、翌日の学生会おつとめ総会に参加させて頂く事によって、学生会との絆が出来て、仲間の繋がりの大切さも実感出来ました。



学生層育成者講習会

12月10日、教務支庁にて、本部学生担当委員の葛西直己先生をお迎えし、支部担当者が21名参加した。まず支部担当者から日ごろの活動についての話、そして練り合い、担当経験の豊かな方から感話を聞かせて頂いた。また講師の先生からのお話

ひのきしんスクール 開催報告 依存症のおたすけ

函館支部(大野成一支部長)では11月6日、特別養護老人ホーム幸成園において教区主催による、ひのきしんスクールを開催し、スタッフ6名を含む受講者52名が参加した。

今回は「事情だすけ」依存症のおたすけ」をテーマに、ひのきしんスクール運営委員・若狭一廣氏による「ひのきしんとは」に続き、ギャンブル依存症問題を考える会代表・田中紀子氏が自らの体験を通し「依存症の基礎知識」、「依存症の回復プロセスと援助者・家族の関わり方」の講義。午後からは陽海分教会長・山本茂氏が「依存症の方に寄り添って」と題し壮絶な体験

では「育成にあたる姿勢としては、声をかけ続けるということが大切。根気をもって、諦めずに声をかけ続ける。これが、教祖のお姿から学ばせて頂ける、大切な姿勢だと思っております。」と、分かりやすい言葉で語られた。参加者は皆、熱い思いで学生層育成に向かう、決意をさせて頂いた。

談を聴かせていただき、最後は質問用紙に基づき、この3人の講師によるパネルディスカッションの場が持たれた。受講者一同、あらためて依存症に対する知識を深めると共に、現代社会における難渋を抱えている人々の、おたすけを考える貴重な機会ともなった。



私は小学校の修学旅行には行かなかった。行かなかったというより行けなかったのである。同級生三百人程の中で行かない者は、四、五人だったと思う。私の理由は金がないからである。皆と行動を共に出来なくて淋しい思いをしたが、これも仕方のない事だとあきらめた。こうしたかなわない数々の事を体験した結果、私は人の痛みがわかるようになったと思つては、

仕方なく与えられた事であつても、自分の人生にとつてはかえつてよい体験であつたと心底思つている。しかし間違つてはならない。それは、なんでもつらい思いをすれば人の痛みがわかり、やさしい心になれるというものではない。やはり、人間とか、人生を真剣に考え、この世の真理に合わせて広い視野で悟る心を培つていく心が大切である。それがないと、反対に世を恨み、人を妬むばかりで悪しき事を考えたりして情けない人生を送ってしまう。

この世人間を創造された親神様の思召を受け入れられた教祖

は、人生の究極の目的は陽気ぐらしと教えられた。陽気とは、暖かい日差しや空気にあたつて身体の内からほんのりとするように、その暮らしは心の底から毎日明るく、おだやかに仲よく、嬉しく暮らす様が連想される。そしてそれは更に将来に希望を持つて暮らせる様であろう。

教理随想 (十二)

陽気ぐらしの心

木岡 昭

が生きるこの世には苦悩が消えることはないということになる。

私達がそれぞれの苦悩を、本当にたすかるための意味と悟つてのり越えた時、本当の陽気ぐらしが訪れると思う。科学的、物理的にこの世の本質を究めても、もう一方で自分だけにしかない人生を受ける心がないかぎり自分の陽気ぐらしは訪れてこない。

私自身、自分の苦悩は自分の人生に与えられたものとして受けとめた。そしてその意味を悟り、生かされている事への感謝と、その御礼のために微力ながら人だすけの実践に歩んできたつもりである。その結果、陽気ぐらしへの道がわかつてきた感じがしている。

教祖百三十年祭の句におみちの人は、教祖の思召に応えるべく心の成長を求められている。それは人をたすける心と実践である。

「人をたすけて 我身たすかる」道である。この世は自分が実践しただけの陽気ぐらしが訪れる。

新教会長さん紹介

(平成28年6月26日お運び)

俱知安支部

三俱分教会 (高安)

奉告祭 8月11日



坂井正輝氏 (44歳)

けいごばん

◎法律に関わる諸問題でご相談の方は弁護士を紹介致します。教務支庁内の書記(渡部)までご連絡下さい。

◎手話・点字講習会

毎月1日、教務支庁にて午後6時から8時まで行います。

※雅楽練習会も併行して開催しています。(二布連)

◎毎月26日10時より、本部分次祭遥拝式をおこなつております。どうぞご参拝下さい。

計報
・佐藤 定子様 11月15日出直 (86歳)
東刺瀧分教会前会長夫人 (天塩支部)
北海道教務支庁日誌抄 (11月19日~12月18日)

11月19~20日 学生会例会
23日 青年会 下半期
26日 本部月次祭遥拝式 支部委員長会議
26~27日 教区合唱団練習日
28日 図書修理会
30日 布教の家
北海道寮 寮祭

12月
1日 たすけ推進会議
2日 支部長会議
3日 教区予算会議
3日 第28回女子青年大会 教務支庁会場
4日 任命願書発送 学生会例会
10日 学生担当委員会 担当者会議

11日 学生会 わかぎの集い おつとめ総会
17日 教務支庁大掃除
18日 教区報編集会議

